

World Out of Home Organization Awards 2024 Technical Innovation Awards 部門グランプリを受賞！ ～Can you conversation with the memories of the city?～



株式会社 LIVE BOARD（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 櫻井 順、以下 LIVE BOARD）は、OOHの国際協会である World Out of Home Organization（以下 WOO）が主催する、WOO Awards2024 の Technical Innovation Awards 部門にて、エントリーしておりました「Can you conversation with the memories of the city?」（日本語作品名：話すビル/広告主：一般社団法人東京ビエンナーレ）が見事グランプリを受賞したことをお知らせします。なお、会場ではファイナリスト3社による最終プレゼンが行われ、来場者約500名による投票の結果、グランプリを獲得することができました。

参照：[WOO Awards 2024 ファイナリスト選出 \(LinkedIn\)](#)、[WOO Awards 2024 Technical Innovation Awards 部門 グランプリを受賞 \(LinkedIn\)](#)

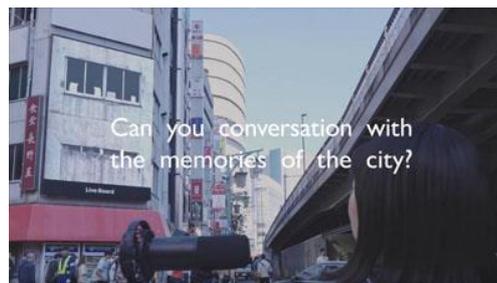
WOOAwards2024 公式サイト：<https://www.worldooh.org/news/awards-at-hong-kong>

◆Can you conversation with the memories of the city?（「話すビル」）とは

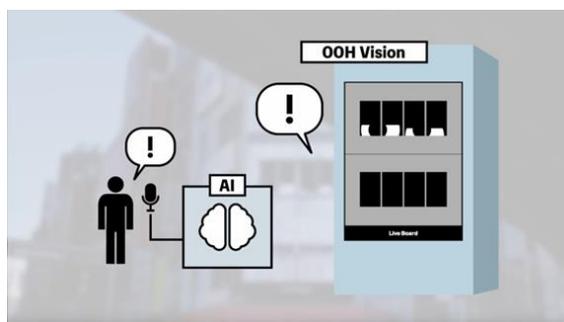
2023年9月23日（土）～11月5日（日）に開催された、国際的芸術祭の「東京ビエンナーレ2023」において、東京ビエンナーレとLIVE BOARDがコラボレーションし、LIVE BOARDが運営する都内の屋外ビジョンを活用した、ビルと話せる前代未聞のインタラクティブアートイベント「話すビル」を開催しました。

「話すビル」は、東京都新宿長野屋ビルに設置されている屋外ビジョン LIVE BOARD のスクリーンに、そのビルの窓や壁が顔のように出現し、歩行者が路上に設置されたマイクで話しかけると、近辺の街の歴史などを語ってくれるインタラクティブなアートイベントです。長野屋ビルは歴史が古く 1915 年から街の歴史を見守ってきましたが、その間、1923 年には関東大震災、1940 年代に大空襲を経験しています。当時を知る人は薄れ、忘れられている東京の記憶をよみがえらせるべく、この老舗ビルをアート作品へと変貌させ、ビルに歴史を語ってもらうことを考えました。その歴史の記憶は、大規模言語モデルの中に眠っていると考え、「話すビル」の会話には ChatGPT を活用することを思案。屋外ビジョンが、建物そして AI と一体化して人々と話す画期的な挑戦でした。

このイベントは、東京ビエンナーレのリンケージの一つである「Not Lost Tokyo」プロジェクトの一環として行われました。「Not Lost Tokyo」は、東京の失われていく記憶や風景を、言葉、写真、3D モデル、AI など様々な方法で次の世代へつないでいくことを試みました。



◆イメージ画像



作品動画 : [Can you conversation with the memories of the city ? \(日本語名 : 話すビル\)](#) [英語版](#)/[日本語版](#)

◆関連企業

広告主：一般社団法人東京ビエンナーレ

広告会社：株式会社電通

クリエイティブ：株式会社ピラミッドフィルムクアドラ

媒体社：株式会社 LIVE BOARD

◆[東京ビエンナーレとは](#)

東京ビエンナーレとは、東京のまちを舞台に 2 年に 1 度開催する国際芸術祭。東京のまちに国内外から幅広いジャンルの作家やクリエイターが集結し、まちに深く入り込み、地域住民の方々と一緒に作り上げていく芸術祭です。

◆World Out of Home Organization とは

World Out of Home Organization は、会員を代表して OOH 業界の促進と向上に取り組んでいる唯一のグローバル OOH 協会です。

◆株式会社 LIVE BOARD

データドリブンにターゲティングや効果検証を実現する

デジタル OOH アドネットワークオペレーター



OOH 領域において国内で初めてインプレッション (VAC) ※に基づく配信を実現。コロナ禍のような人流変化が起こりやすい状況下でも、“そのとき、その場所で、その広告を”見ると仮定される人数をもとに、限りなく実態に即した広告配信および課金体系を展開。加えて、屋外・屋内、電車内、駅構内など日本全国の多様なデジタル OOH

を束ねた独自ネットワークに国内最大級キャリアのビッグデータを掛け合わせることで、性・年代別によるターゲティングなど、従来の OOH では難しかった“ヒト”基点による配信を可能にしました。

※ LIVE BOARD は、OOH グローバルメジャメントガイドラインにて推奨されている、視認調査に基づく視認率を加味したインプレッション (VAC = Visibility Adjusted Contact / のべ広告視認者数) を採用しています。媒体の視認エリアの中にいる人数 (OTS = Opportunity to See) のうち、OOH 広告に接触する可能性のあるべ人数 (OTC = Opportunity to Contact / 視認エリア内での移動方向や障害物の有無を考慮) を定義。この数に媒体に応じた視認率を加味することで、実際に広告を見るであろうべ人数 (VAC) を推計しています。

会社名	株式会社 LIVE BOARD
代表者	代表取締役社長 櫻井 順
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30 Daiwa 青山ビル7階
営業開始日・創立日	2019年2月1日
事業内容	デジタル OOH 広告配信プラットフォームの運営、デジタル OOH 広告媒体の開拓、デジタル OOH 広告枠の販売
ホームページ	https://www.liveboard.co.jp

<本リリースに関するお問い合わせ先>

LIVE BOARD 広報事務局 担当：安部

TEL : 090-5393-0219 / 03-5843-0932 E-mail : info_press@liveboard.co.jp